

特集

## 在宅での薬の服用・管理を考える

複数の疾患を抱えて在宅療養されている高齢者にとって、多種多様な薬剤の服用と管理はむずかしく、正確に服用されていないケースも耳にします。認知症や独居の療養者が増加している現状においては、服薬管理の重要性がさらに増しています。在宅での取り組みと今後の課題を明らかにします。

医師会・薬局との連携 雨師みよ子

在宅での服薬を助ける工夫 金井秀樹

薬剤師による訪問指導がもつ意義 萩田均司

夕張での薬剤師の訪問活動とその効果 古田精一

外部への働きかけと内部からの向上

——薬局・薬剤師との連携と高度管理医療機器の取り扱い 松木満里子

## ■特別記事

訪問看護師研修——セコムの取り組み 小西優子

子育て中で精神障害のある人への支援 辻本直子

## ■研究報告

高齢者訪問看護質指標（家族支援）の開発 山本則子ほか

## ■新連載

精神科医の家族論 服部祥子／広汎性発達障害の理解と援助 細川雅人

## ■連載

マグネットステーションインタビュー 木村憲洋／訪問看護時時刻々 石田昌宏／高齢者虐待にどう対応するか 和田忠志／ヒト・モノ・バをつなぐ認知症ケア 山崎正人／ほんとの出会い 岡田真紀／お母さんといっしょ 横谷順子／自宅で死んでみませんか 皆川夏樹

編集  
後記

●巻頭連載「マグネットステーションインタビュー」に登場していただいているのは前号特集にご執筆の地下節子氏です。端々に現れる訪問看護の質の向上にける意識の高さに、スタッフや利用者の方々のみならず、お話をうかがっている私もひきつけられてしまいました。なお、今号まで黒田善子氏の「モウ」に弊誌の表紙を飾っていただき、好評を博しておりましたが、次号より表紙デザインを変更いたします。新連載も予定しておりますのでどうぞご期待ください。.....富岡

●昨年10月、「介護なんでも文化祭」の会場で、工夫を凝らした作品を展示した若年認知症社会参加支援センター「ジョイント」のコーナーに出会いました。若年認知症の人がただ支えられるだけでなく、できることを表現していける環境の中でアピールしている！その味わいのある作品は、2月号から連載「自宅で死んでみませんか」の挿絵に使わせてもらっています。認知症の人が増えている現状は、希薄になる一方の人と人とのつながりへの警告のように思え、自分自身はどうなのか？と、自問しながらの特集でした。.....伊藤

訪問看護と介護 第14巻 第3号（通巻 153号） 2009年3月15日発行（毎月1回15日発行）

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2009, Printed in Japan

1部定価1,260円（本体1,200円＋税5%） 年ごめ予約購読料13,200円（年間12冊，税込，送料弊社負担）

電子ジャーナル閲覧オプション MedicalFinder パーソナル付 18,200円（税込，送料弊社負担）

発行：株式会社 医学書院／代表者：金原 優／販売部：03-3817-5659／社内案内：03-3817-5600

「訪問看護と介護」編集室：直通 03-3817-5787 FAX 03-5804-0485 担当：富岡・伊藤・早田

Eメール houmon@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページURL <http://www.igaku-shoin.co.jp>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）医学書院が保有します。

JCLS &lt;（株）日本著作出版権管理システム委託出版物&gt;

本紙の無断複写は著作権法上の例外を除き禁止されています。複写される場合は、そのつど事前に（株）日本著作出版権管理システム（電話03-3817-5670，FAX03-3815-8199）の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「0917-1355/05/¥250/論文JCLS」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCLSへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。